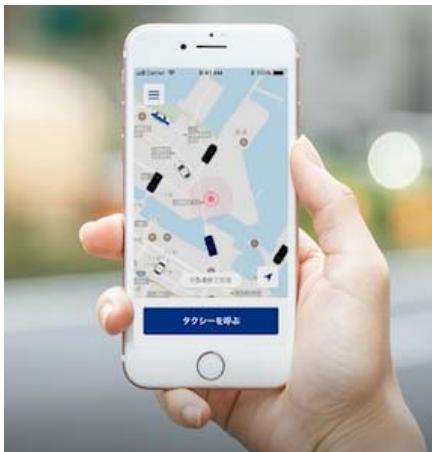


神奈川県下統一アプリ 導入とその狙い



タクベル

2018年3月28日
神奈川県タクシー協会横浜支部
大野慶太

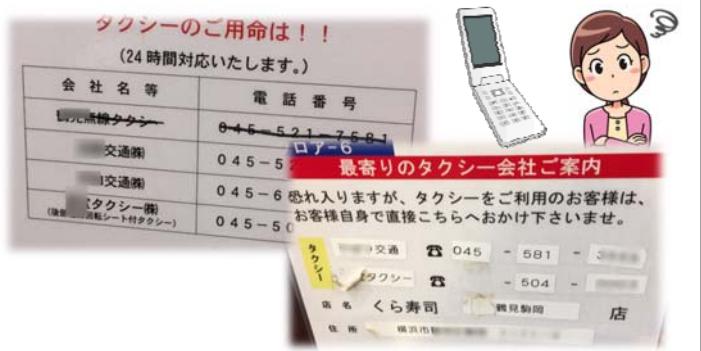
乱立してきた日本のタクシー呼出アプリ



各社努力の結果、かえって台数シェアが不足し利便性向上の妨げになっている。高品質のアプリを密度濃く導入していくことが、成功の鍵！

電話→スマホは、「置換わり」ではなく、地域交通の革新

部分最適になる無線競争



- ✗利用者は、電話番号の順にたらい回し
- ✗位置情報が分からぬ⇒強い待たされ感
- ✗現実のサービスは、似たり寄ったり？

全体最適を目指す共通アプリ

(A社、B社、C社、D社、E社、F社、G社、H社)



- タクシー業界も相互乗り入れの時代
- タクシーを利用者のスマホに可視化

→顧客の奪い合いから、
顧客全体の拡大へ

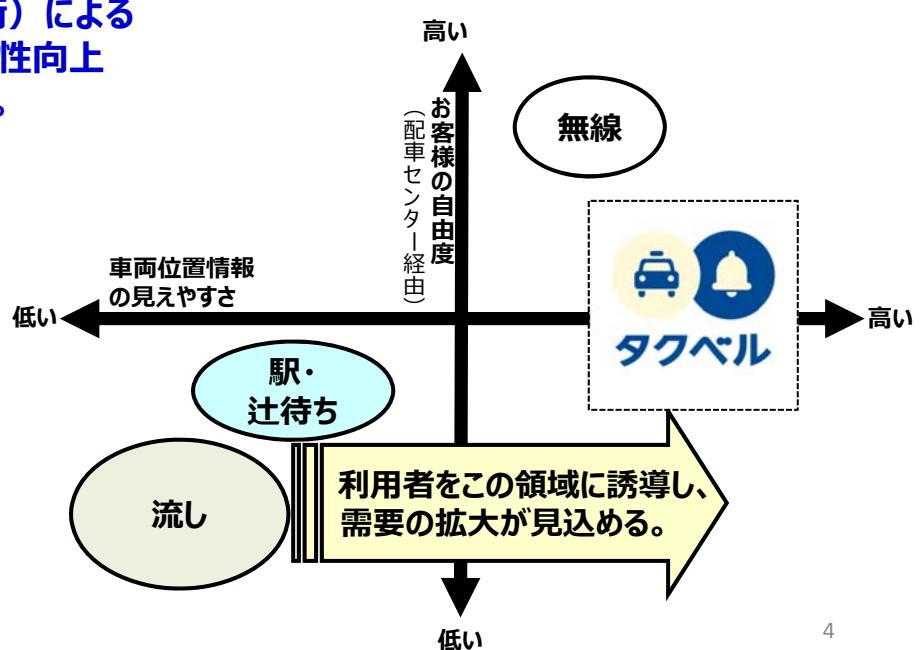


県下統一アプリが改革する領域

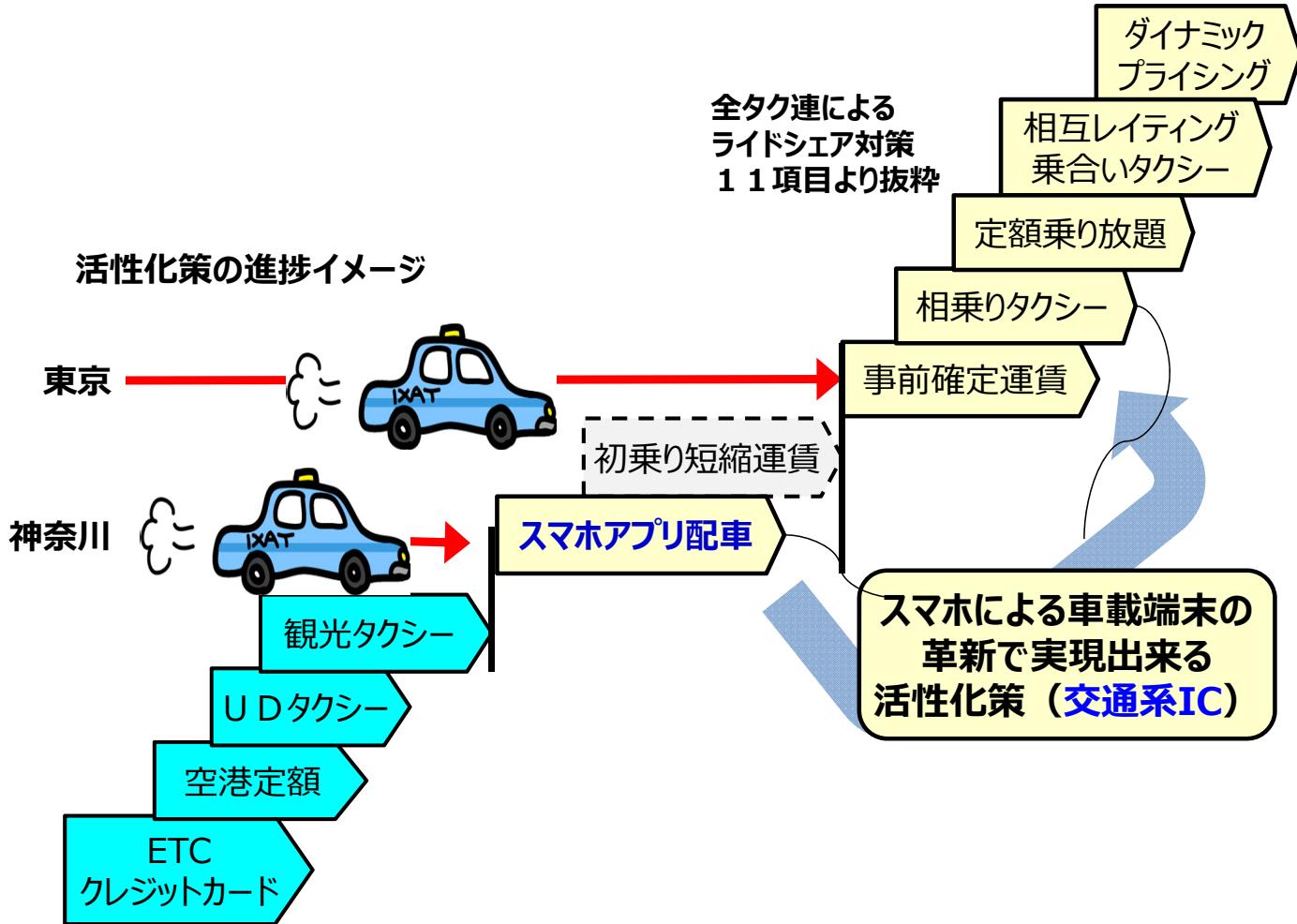
業態	流し	駅・辺待ち	無線配車
現状	乗務員の経験・勘・度胸 需要予測による乗務員の 生産性向上が期待される。	選択性向上以外は、 殆ど進化していない。	デジタル化が進行 顧客管理システムが 大きく発展した。

IT (情報技術) による
改革余地、生産性向上
の余地が大きい。

タクベルの基本機能	
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ●空車位置情報を利用者に 伝えられ、直接呼出せる。 ●運行会社・乗務員資格等 のたらい回しがなくなる。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ●機会ロスをなくし、実車率 の向上につなげられる。 ●需要予測・決済サービス等 の付加価値機能が追加



タクシー利便性向上のステップ



実証実験期間中の利用者様/乗務員様の声

■ 利用者様

- ・待ち時間も停車位置も**ハッキリ見えるのがいいですね。**
- ・大雨の日の配車依頼。電話がなかなかつながらず困っていましたが、タクベルによりスムーズに乗車できました。これからはタクベルを使います。
- ・タクベルで空車のタクシーが近くにいるかどうかがわかるので、近くにいることがわかれれば**空車タクシーの近くまで歩いていき乗車**しています。呼ぶか、流しで乗るかもタクベルを見て決めるので便利です。

<Twitter投稿より>



■ 乗務員様

- ・近い距離からの配車依頼が多く**乗車待ち時間も短い**ので嬉しい。
- ・需要予測機能が、普段走っているルートと違う場所を提示。我流のルートはほぼ需要がない場所だったということに気づきました。
- ・メッセージ機能と停車場所の表示機能により、お客様にスムーズに停車位置まで来ていただくことができて便利さを実感しました。

AIによる需要予測をPRし、労働力の確保も期待できる

つばめタクシーで働くメリット

全車 GPS カーナビ搭載

1

精度を要けると自動的にお迎え先までのルートがカーナビに表示されます。
つばめの配車センターに登録のある場所であれば、行先まで
のルートも電話番号だけで照会可能。住宅地周辺まで情報を
いるため、地理不慣れな場所でも安心です。



▲お客様がいらっしゃる可能性が高い場所や交差点をリアルタイム照会

名古屋のタクシー業界で シェア No.1

2

名古屋高架面のタクシー全体で、つばめグループは車両台数
シェア20%・売上シェア25%・無駄配車（電話による要配車）
シェア35%を占めています。



▲つばめ配車センター

最寄の最適車両を自動配車

4

つばめの配車システムは、お迎え先周辺の車両を高頻度検索と
して最適ルート検索を行い、最も早く到着できる車両を自動
的に配車するので、原則として不當に近い場所への配車が行
われます。

世界初 / 需要予測システム導入

5

過去にお客様にご乗車いただいた場所や時間などの情報を集約・分析して割り出した。車両の現在近くでその時間帯にお客
様がいらっしゃる可能性が高い場所を、リアルタイムでカーナビに表示。未登録の方でもお客様にご車両いただけそうな場所を探す
ノウハウが得られます。（特許 第3864205号・第3729694号）

東宝タクシーで働くメリット

未経験者も安心の 需要予測システムの導入！

AI（人工知能）を活用することで、
従来、経験と勘で、流していた
無駄な走行をする必要がなくなります！



※あくまでイメージ。

総合的マーケティング施策には :DeNA との連携が不可欠

運賃・料金 (Price)

全タク連による

ライドシェア対策に準じた改革

- 事前確定運賃

- 定額乗り放題

- 相乗り運賃

乗車機会の提供 (Place)

- スマホによる空車情報の可視化

- 需要の大きい施設での呼出機器

- タクシー乗り場でのIT活用

乗車品質 (Product)

- 総合安全プラン2020

- 新型車両 (UD、ASV)

- 乗務員のコミュニケーション力

- 多言語対応、決済機能の拡充

- 相互レーティング (乗務員評価)

乗車の販促 (Promotion)

- プレスリリース

- ティッシュ、チラシ配布

- 既存タクシー関連サイトとの連携

- MAP、飲食サイトとの連携

- 車内広告/SNS広告

タクシー業界のみでは、「運賃・料金」「安全・安心」の課題設定。
DeNAとの連携により、総合的なマーケティング施策が可能になる。

マスメディアの活用

9月4日メディア発表での露出例



T V	ニュースチェック11
	首都圏ネットワーク
	tvkスポットニュース
	tvkスポットニュース
	tvkニュース
	ニュース930a
	猫のひたいほどワイド

新 聞	日本経済新聞
	読売新聞
	朝日新聞
	産経新聞
	毎日新聞
	東京新聞
	日経産業新聞
	フジサンケイビジネスアイ
	日刊自動車新聞

タクシーの配車や決済をアプリで DeNAが横浜で実験

9/4(月) 17:28:00 信
ITmedia ビジネス
ONLINE

ディー・エヌ・エー(DeNA)は9月4日、タクシー配車アプリ「タクペル」を活用したサービスの実証実験を横浜市の一部地域で開催すると発表した。配車依頼、目的地の指定、運賃の決済などをアプリ経由で行うことによって、乗客の利便性向上とドライバーの業務効率化を図る狙いがある。

【配車を依頼する画面のイメージ】

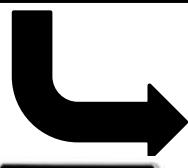
実証実験は9月12日～10月31日に、横浜市中区、西区、JR横浜線沿線(東神奈川～長津田)で実施予定。アプリによる配車に対応したタクシーが1日当たり約100台走行する。

W E B	NHK
	テレビ神奈川
	日本経済新聞
	日本経済新聞
	日本経済新聞
	YOMIURI ONLINE
	YOMIURI ONLINE
	朝日新聞
	毎日新聞
	産経ニュース

9

横浜市中核病院に呼出タブレットを提案中

現状	<p>医療機関近辺のタクシーは、特に需給にアンマッチが見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迎えに来るまでの待たされ感、ストレス。 ・電話をしてから、配車不能が分かり、利用者は、たらい回し。 →タクシー会社の顧客囲込みでしかない。 ・退院時のUDタクシーが確保出来ない。 ・タクシー待機場所から溢れるタクシー。 →待機するドライバーの喫煙その他
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



現場のニーズ

- 荒天時等にタイムリーに来て欲しい。
- 乗降介助のスキルのあるドライバーに来て欲しい。
- スペースから溢れんばかりの待機は遠慮して欲しい。



- 県タクシー協会推奨の仕組みの為、呼出がし易い。
- 最も近い車両の種類(UD、セダン)の選択が可能。
- 車両の位置の可視化により、待たされ感が大幅に軽減。
- 将来的には、待機スペースの削減も期待出来る。



いよいよ、1次リリース！

- 日時：2018年4月19日（木）
- 対象：横浜・川崎の法人タクシーの約5割程度

※6月以降、順次相模・小田原・横須賀・鎌倉地域で
2次リリースを実施。

※2018年中に、交通系ICカード、AIを活用した
需要予測システムの導入。（予定）

※公共施設向け呼出タブレットの実証実験。（予定）

